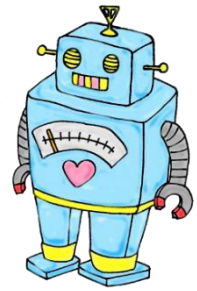


I want to be a robot scientist.

# 私はロボット博士



## あなたがロボット博士として開発したロボを紹介します。

私たちの実生活のあらゆる場面でロボットが活躍し始めています。お店の受付をするロボットやレストランで料理を運ぶロボット、人間と会話をするロボットもいます。工場で野菜を作ったり、動物や人間の世話をするロボットもいます。

ロボットは、これからの日本の課題でもある人口減少や少子高齢化に伴う人手不足の問題を解消してくれるでしょう。また、新型コロナ時代とでも呼びべき新しい社会の形成者の一員としてそれ以外にも様々な仕事をこなしてくれる頼もしい存在となるでしょう。

今日は、あなたがロボット博士としてロボットを開発したという設定です。あなたの開発したロボットの魅力やそのロボットができることを関係代名詞を使ってアピールしてください。

### ★関係代名詞(主語の役割をする)のポイント★ 関係代名詞を使って名詞を詳しく説明する手順①②③

①修飾したい名詞を確認 ②直後に関係代名詞を置く ③関係代名詞を主語として動詞(助動詞)その他の情報を加える

「A することができるロボット」 → **<a robot that can + A(動詞の原形)>**と表せます。

<>で囲まれた部分が意味のかたまりとなります。先行詞が「もの」の場合、関係代名詞は which でもOK。

<例> **This is a robot that(which) can cook well.** (これは上手に料理ができるロボットです。)

## <活動の流れを于エツクしよう>

◆STEP1◆ 「これは～することができるロボットです。」の文を2つ書きましょう。

WRITE

A	This is a robot
B	This is a robot

### <動詞表現バンク>

do my homework 私の宿題をする / cook good ramen おいしいラーメンをつくる / sing a song 歌を歌う  
 play tennis テニスをする / speak many languages 多言語を話す / clean my room 私の部屋を掃除する  
 go to school for me 私の代わりに学校に行く / fly in the sky 空を飛ぶ / teach math 数学を教える  
 become a bed ベッドになる / eat insects 虫を食べる / give advice 助言する / play shogi 将棋をする  
 talk with me 私と話す / swim 50 meters 50メートル泳ぐ / answer all questions あらゆる質問に答える

◆STEP2◆ 友だちとロボットのアイデアを交流しよう。

<たずねる人> **Which do you like better, robot A or robot B?**

**A: This is a robot that... B: This is a robot that...**

<答える人> **I like robot A better (than robot B).**

TALK

( )年( )組( )番 名前( )活動日( / )

(C) Wakuwaku Kyoza Land <www.e-kyozai.com>

